

経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県小田原市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	透I未訓ガ	救臨が災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
193,803	24,393	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

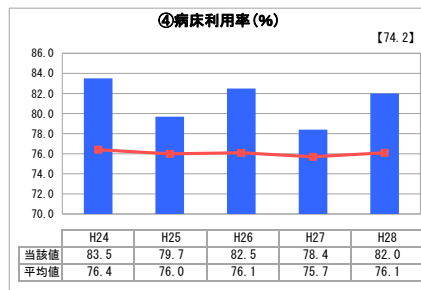
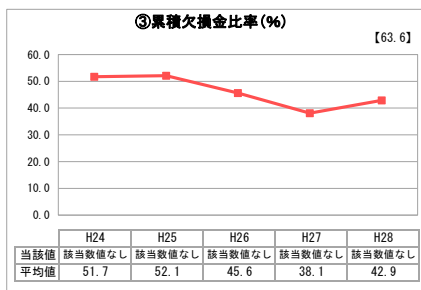
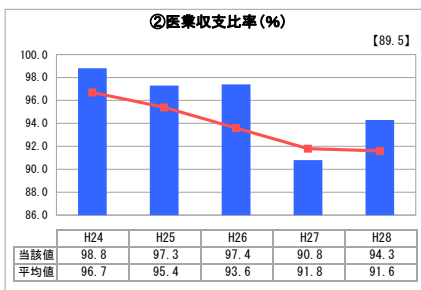
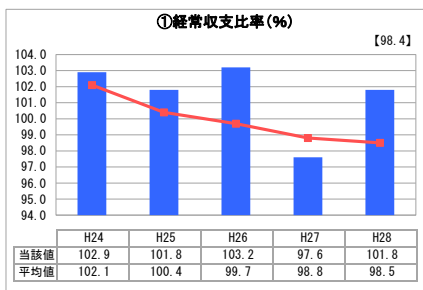
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
417	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	417
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
417	-	417

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

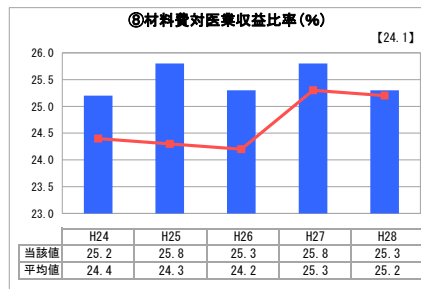
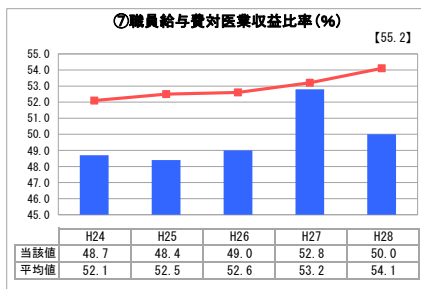
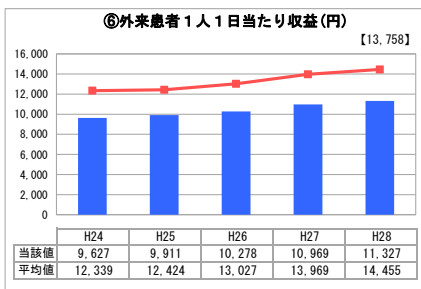
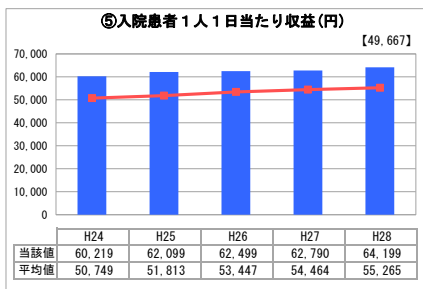


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



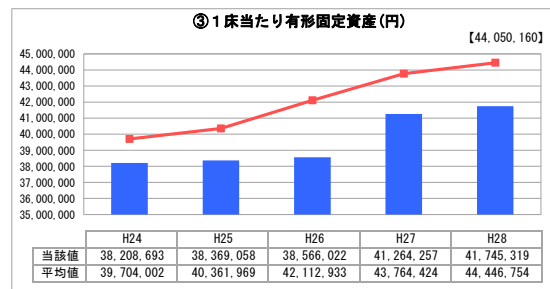
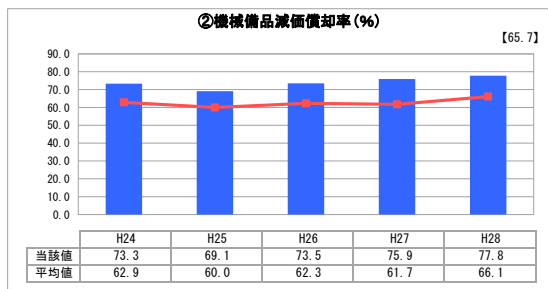
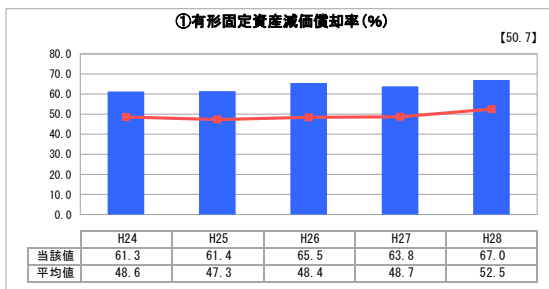
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「機械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院が地域において担っている役割は、県西二次保健医療圏における基幹病院として、高度急性期・急性期医療を中心とした医療に加えて、救急・小児・周産期といった公立病院に期待される医療を安定的に提供することで、地域の住民が安心できる医療を守ることです。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」：100%を超えているものの、今後、消費税の増税や診療報酬改定等が当院の経営に影響を与える可能性があるため、引き続き経営改善に努めていく必要があると考えています。

「④病床利用率」：数値は全国平均及び類似病院平均を超えています。平均在院日数は減少傾向にあります。これは紹介率向上のための取組の効果等によるものと考えています。引き続き数値が高くなるよう努めていきます。

「⑤入院患者1人1日当たり収益」：全国平均及び類似病院平均を超えており、引き続き、断らない数の推進や紹介率向上のため地域の医療機関との連携を強化し、高度急性期・急性期入院患者数の増加に努めていきます。

「⑦職員給与費対医業収益比率」：全国平均及び類似病院平均を下回っているものの、今後は、医療の充実や働きやすい職場づくりの推進のため、職員数の増加が考えられることから、費用対効果の視点も取り入れた職員数の管理を推進してまいります。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」
「②機械備品減価償却率」
当院の建物は建設後35年以上が経過しているほか、医療機器については定期的なメンテナンスを行い、できるだけ長く使用できるよう努めています。これらにより、全国平均及び類似病院平均を超えており、他病院と比べて当院の有形固定資産及び機械備品は老朽化が進んでいると判断できます。

「③1床当たり有形固定資産」
当院では、厳しい財政状況のもと、必要最低限の投資に留めています。全国平均及び類似病院平均を下回っていることからそれが判断できます。

全体総括

病院職員が一丸となり経営改善に努めたことにより、純利益を計上することができました。今後、消費税の増税や診療報酬改定等が当院の経営に影響を与える可能性があることから、病院の建替えを行う予定があることから、引き続き経営改善に努めていく必要があると考えています。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。